

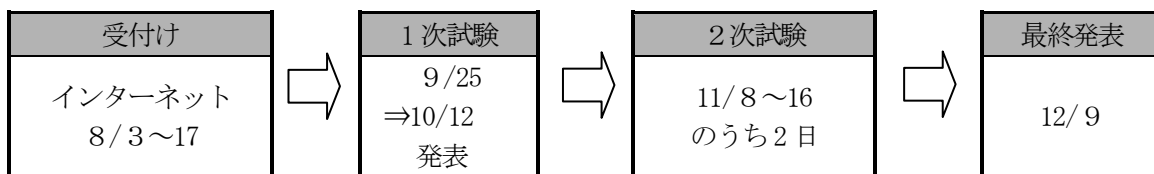
2016 年合格目標

国家総合職 秋試験(教養区分) 対策講座 ガイダンス

担当 TAC 国家総合職講座担任 山下純一

1 国家総合職教養区分試験とは

(1) 試験の流れ(平成 28 年予定)



(2) 試験内容

1) 1 次試験

試験の時間割(平成 27 年試験)

9:00～13:20	総合論文試験(試験時間 4 時間)
昼休み	
14:00～16:15	基礎能力試験 I (試験時間 2 時間)
16:25～17:55	基礎能力試験 II (試験時間 1 時間 30 分)

①総合論文試験(4 時間：2 問：配点 8/28 ※評価は 2 次でなされる)

I：政策の企画立案の基礎となる教養・哲学的な考え方に関するもの

II：具体的な政策課題に関するもの
(それぞれ 1 行 32 文字×55 行の解答用紙で答案作成)

②基礎能力試験 I (2 時間：24 問＝文章理解 8 問＋数的処理 16 問：配点 3/28)

③基礎能力試験 II (1 時間 30 分：30 問＝時事 3 問＋自然科学・人文科学・社会科学各 9 問
：配点 2/28)

具体的には・・・

①総合論文試験

平成 27 年本試験問題

I 部

設問

これからの日本のイノベーションの可能性とそこで政府が果たすべき役割について、あなたの見解を述べなさい。

資料 1

科学技術イノベーションの三つの役割

①経済再生を確実にする原動力

ようやく日本経済は緩やかに回復しており、デフレからも脱却への明るい兆しが見えつつある。しかし、力強い成長軌道に早期に復帰し、成長力の底上げと好循環の実現を図り、経済再生を確実にしていくことは、持続的な経済成長につなげていく上で不可欠である。科学技術イノベーションはその中核となる原動力であり、引き続きその役割が期待されている。

②将来の持続的発展のブレークスルー

より長期的な観点から鑑みると、今後本格的な人口減少・少子高齢化社会を迎え、厳しい資源・エネルギー制約や国際経済環境が予想される中で、将来においても、国際競争力を確保し持続的発展を実現させるためには、イノベーションを機軸とする以外に選択肢はない。このため、日本を「世界で最もイノベーションに適した国」とし、世界で最も活発なイノベーション発信拠点へと変貌させていく必要がある。

③グローバル経済社会でのプレゼンス向上の切り札

日本がグローバル化した世界の中で生きていく今日にあって、そのプレゼンスを高め地位を向上させる上で、科学技術イノベーションが有力な切り札となる。すなわち、世界の中で人口・規模や賦存資源等必ずしも優位にない日本において、その人的能力や技術力の高さは、日本の国力の源泉と言える。世界及びアジアにおける日本の位置付けとして、世界トップの技術力を可能とするイノベーション拠点として世界を惹き付けることで、所得や雇用を確保することが必要である。また、世界最高水準の技術力を活用し、地球環境問題の解決等国際社会に貢献することが必要である。

The value and benefits of integrating Social Sciences and Humanities

European Social Sciences and Humanities (SSH) are world class, especially considering their diversity. They are indispensable in generating knowledge about the dynamic changes in human values, identities and citizenship that transform our societies. They are engaged in research, design and transfer of practical solutions for a better and sustainable functioning of democracy. Their integration into Horizon 2020* (H2020) offers a unique opportunity to broaden our understanding of innovation, realigning science with ongoing changes in the ways in which society operates.

1. **Innovation is a matter of change in organisations and institutions as well as technologies.** It is driven not only by technological advances, but also by societal expectations, values and demands. Making use of the wide range of knowledge, capabilities, skills and experiences readily available in SSH will enable innovation to become embedded in society and is necessary to realise the policy aims predefined in the “Societal Challenges”.
2. **Fostering the reflective capacity of society is crucial for sustaining a vital democracy.** This can be achieved through innovative participatory approaches, empowering European citizens in diverse arenas, be it through participation as consumers in the marketplace, as producers of culture, as agents in endangered environments, and/or as voters in European democracies.
3. **Policy-making and research policy have much to gain from SSH knowledge and methodologies.** The latter lead to new perspectives on identifying and tackling societal problems. SSH can be instrumental in bringing societal values and scientific evaluation into closer convergence.
4. **Drawing on Europe's most precious cultural assets,** SSH play a vital role in redefining Europe in a globalising world and enhancing its attractiveness.
5. **Pluralistic SSH thinking is a precious resource for all of Europe's future research and innovation trajectories,** if it can be genuinely integrated. H2020 offers this opportunity for the first time.

(注) *Horizon 2020：EU の科学技術政策における研究開発枠組みプログラムで、日本の科学技術基本計画に相当する。従来は Framework Program (FP) と呼ばれていたが、2014 年から 2020 年の枠組みについては Horizon 2020 と名称が変更された。研究開発の成果を欧州の経済成長に結び付けることが戦略目標であるが、従来以上にイノベーションを強調している点に特色がある。

資料 3

第三次の産業革命の中核は原子力技術と宇宙科学という大規模で高度な産業によって占められてきた。そしてそれが地球の有限性，世界の有限性という壁にぶつかり，そのことのフィードバックの結果として，90年代以降，通信情報革命に取って代わられている。

たぶん私たちはそれを，第四次の産業革命と呼んでもよいかもしれない。けれども，もしそう呼ぶなら，この第四次の産業革命の特色は，第三次産業革命までの大資源・大廃棄が，小資源・小廃棄へと変わったこととして語られるだけでは不十分である。モノ中心の消費化社会からコト中心の情報化社会への重心の移動がみられるというだけでも，不十分だろう。コンピュータ単体の一方向発信型の情報化からコンピュータを群生するサンゴのように見立てた双方向性の情報化社会への転成も，大きな要因をなしているが，それをいってもまだ，不十分だと思われる。なぜなら，この産業革命の到来を可能にしているものは，そのような観点からでは，とらえられない。また，単にこのようなものであれば，技術の原理の改変とまではいえないからである。

Ⅱ 部

設問

2016 年、我が国が国際連合に加盟して 60 年目となる。新興国が台頭する中、我が国は国際社会において、今後どのような役割を担い、どのような貢献を果たしていくことになるか、あなたの考えを具体的に述べなさい。

(参考)「平成 27 年版外交青書(要旨)」(外務省)より引用

戦後の日本は、常に国際社会と共に歩み他国と共に栄えることを重視し、国際協調の中で国家の再建を果たした。米国との間では、日米安保体制を中核とする日米同盟を構築し、それを通じてアジア太平洋地域の平和と安定に寄与してきた。また、自らが国際社会に積極的に貢献していくためにも、国際連合に加盟した。そして、国連の理念を擁護し、世界の様々な課題に積極的に取り組んできた。加えて、国際通貨基金(IMF)や関税及び貿易に関する一般協定(GATT)の下での国際経済・金融秩序の構築に貢献しながら、自ら経済成長し、世界に新たな製品やサービスを提供してきた。

日本は、国連や自由貿易体制といった国際社会の枠組みからの恩恵を自ら享受するだけでなく、この枠組みを更に強化するため尽力してきた。そして、日本も国際社会の責任ある一員として、アジアと世界の平和と繁栄に貢献するという姿勢をこれまで一貫して維持してきている。

日本は特に、アジア諸国との関係を重視し、その経済発展や政治的安定に貢献するのみならず、社会・文化などを含めた広範な分野で「心と心のふれあう」相互信頼関係を構築し、対等なパートナーとして共に歩んできた。

日本は、民主主義を確固としたものとし、灰燼の中からの復興と高度経済成長によってアジアにおいていち早く「豊かさ」を体現した国家として、また、環境・社会問題を克服して安全・安心に暮らせる社会システムを作り上げた国として、多くのアジア諸国に国づくりのモデルを提供した。日本からの投資や技術移転は、アジアと世界の人々の生活水準向上や安全・安心な社会の形成の一助となった。日本のアジアの発展に対する貢献は、アジア諸国から高く評価されており、日本は、世界に良い影響を与えている国として高く評価されている。

②基礎能力試験Ⅰ

問題番号	科目	内容	問題番号	科目	内容
No. 1	文章理解	現代文(内容合致)	No. 13	判断推理	証言推理
No. 2	文章理解	現代文(内容合致)	No. 14	判断推理	対応関係(数量推理)
No. 3	文章理解	現代文(文章整序)	No. 15	空間把握	軌跡の面積
No. 4	文章理解	英文(内容合致)	No. 16	空間把握	スライス法
No. 5	文章理解	英文(内容合致)	No. 17	数的推理	時計算
No. 6	文章理解	英文(内容合致)	No. 18	数的推理	売買と割合
No. 7	文章理解	英文(内容合致)	No. 19	数的推理	確率
No. 8	文章理解	英文(空欄補充)	No. 20	数的推理	剰余系
No. 9	判断推理	命題(三段論法)	No. 21	数的推理	約数の個数
No. 10	判断推理	対応関係 (プレゼント交換)	No. 22	数的推理	確率
No. 11	判断推理	対応関係(購入物と色)	No. 23	資料解釈	相関図(3つの試験の 得点率の散布図)
No. 12	判断推理	位置関係 (アパートの部屋割り)	No. 24	資料解釈	数表(貿易額・貿易相 手の推移)

③基礎能力試験Ⅱ

問題番号	科目	内容	問題番号	科目	内容
No. 1	時事	我が国における近年の法改正	No. 16	日本史	日本文学の歴史
No. 2	時事	近年における貿易や経済協定等	No. 17	日本史	大正時代の政治
No. 3	時事	我が国における子育てを 取り巻く状況	No. 18	世界史	ヨーロッパにおける戦争
No. 4	数学	3次関数の最大値	No. 19	世界史	アジアやアフリカにおける イスラーム王朝
No. 5	数学	方程式の解	No. 20	地理	南半球の自然環境
No. 6	物理	抵抗の並列接続	No. 21	地理	北欧諸国
No. 7	物理	浮力の大きさ	No. 22	法学	社会権
No. 8	化学	元素や原子	No. 23	法学	わが国の消費者保護法制
No. 9	化学	銅やその化学反応	No. 24	政治	現代における各国の政治体制
No. 10	生物	細胞	No. 25	政治	条約や国際機関
No. 11	生物	動物の行動	No. 26	経済	我が国における近年の金融政策
No. 12	地学	地球環境の変化や生物の進化	No. 27	経済	第二次世界大戦後の我が国の経済
No. 13	思想	ドイツの思想家	No. 28	経済	国際経済
No. 14	思想	江戸時代の思想家の著作	No. 29	社会	メディアと社会
No. 15	芸術	19世紀以降に活躍した芸術家	No. 30	社会	我が国の公的年金制度



I 部で 8 点・II 部で 9 点を取れなければ足切り



合格点が何点くらいか？

※参考平成 27 年試験 1 次試験合格最低点(標準点 114 点で合格 カッコ内は平均点)

基礎能力 I (12. 771)	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
基礎能力 II (14. 082)	27	26	24	22	20	18	17	15	13	11

【No. 1】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

ひととひととの〈あいだ〉で生起する出来事のなかで、あるひとに生き難さをもたらすものがある。苦難をもたらすものがある。その生き難さ、苦難が他人からみて、その当人の不運であるとみなされているとき、そして、本人自身が自らの不運であるとみなして生きているとき、その生き難さ、苦難は本人だけの事柄として他人によっても本人によってもみなされている。そのような生き難さ、苦難を本人だけが抱えて生きる。生きざるをえない。

しかし、そうした生き難さ、苦難が実は自然にもたらされたものではないのではないのか、不運によるのではないのではないのか、と感じられたとき。自分が当然、他人に対して、社会に対して、統治・政府に対して予期してよいはずの事柄が妨げられた、台無しにされた、成就されうる約束と予期していたことが裏切られた、だから、わたしの生き難さ、苦難は、別様のしかたで受けとられてよいのではないのか、そう感じられたとき。そのときに不正義感覚をあらわす手だてを見出し、実際に話しかけ、他人に対して、社会に対して、統治・政府に対して、不平・不満の訴えかけを行なう。自分もそのなかにある、いま現に享受している、背負わされてもいる〈あいだ〉のありようは、別様であっていいのではないのか、と呼びかける。

そのような不正義感覚の表出は、それまで自らの不運であると思い、自分だけで抱えていた生き難さ、苦難を、「自分は不正に扱われた」と語り直しによって、他人にむけて、社会にむけて、統治・政府にむけて訴えかけることである。この場合、他人、社会、統治・政府がその訴えを聴き、その声に応ずることは、不正義感覚を表出した者が不運として自らのうちにかかえていた問題を分かちもつことにつながりうる。〈あいだ〉の別様の可能性にむけた呼びかけに応える仕事分かちもたれなくてはなるまい。

もちろん、それまで自ら不運と見定めていた事柄を不正であると認識し直すのではなく、端的に「これは不正である」と表出する場合もあろう。その場合にしても、不正であると指し示した事態を、他人、社会、統治・政府のいずれか、もしくはすべてが共に対処すべき問題として受けとめることを要求している。

1. ひとが不正義感覚を表出するときは、本人の生き難さ、苦難を共に対処すべき問題として分かちもつことを他人、社会、統治・政府に求めている。
2. 自ら不運と見定めていた事柄を、本人が、不正であると認識し直すことによってのみ、〈あいだ〉の別様の可能性が生まれる。
3. 自分が負っていた生き難さが不運によってもたらされたと知ったとき、ひとは、他人や社会に対して、不平や不満の訴えかけをしてもいい。
4. 他人、社会、統治・政府が、苦難を抱えて生きる者の訴えを聴き、応えることによって、その者の予期していた事柄が成就される。
5. 〈あいだ〉の別様の可能性を生み出すためには、ひとが不正義感覚を表出できる土壌が形成されていることが肝要である。

【No. 4】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

To a virus like Ebola, people are kindling — the more there are, the easier it is to spread. Africa's population has exploded over the past few decades, and the continent is now home to more than 1.1 billion people. That growth is set to continue: a recent U.N. report projected that Africans will make up nearly 40% of the planet's population by the end of the century. Africans are increasingly mobile, whether traveling by road or by air, which is how an American infected in Liberia managed to spread Ebola to the former capital of Nigeria, Lagos, home to more than 20 million people. "Ebola outbreaks used to occur in Central Africa, but in West Africa the villages are closer together and the roads are easier to travel," says Robert Garry, a Tulane University virologist who has been involved in the Ebola response. "Once the virus is in a city, it's difficult to ring it off and stop the spread."

That's especially true of desperately poor countries like Liberia or Sierra Leone, where health care systems were barely adequate even before Ebola. "We were not prepared to really fight this battle in terms of the material, the training, the people, the expertise," Liberian President Ellen Johnson Sirleaf told Liberian health workers on Aug. 10. The Centers for Disease Control and Prevention is now sending dozens of staffers to West Africa, and on Aug. 4 the World Bank pledged up to \$200 million to help support the global response, but for too long, underresourced aid groups like Doctors Without Borders were the only international forces on the ground fighting the outbreak. Fear of the disease among local populations has made control that much more difficult, with some people hiding sick relatives and even attacking medical personnel. "There is such unevenness in terms of capability and capacity that every country on the planet is more vulnerable," says Gayle Smith, senior director at the National Security Council. "We can't afford for health-security reasons for there to be big holes in the net."

1. アフリカ大陸で人口爆発が起きてから数十年が経ち、20 世紀末には同大陸の人口が世界の人口の 40% に達したと、国連は最近のある報告書で発表している。
2. ウイルス学者 Robert Garry は、西アフリカの町では、交通の便は良いものの電力が不安定で電話が不通になりやすいことが、エボラ出血熱の感染を抑止することを困難にしていると指摘した。
3. 住民がエボラ出血熱を恐れて、身内の病人をかくまったり医療スタッフを襲ったりする者がいたことで、エボラ出血熱の感染を抑止することの困難度が増した。
4. 世界銀行が国境なき医師団に対し、2 億ドルの拠出を行ったことにより、リベリアでのエボラ出血熱の患者数は減少しつつある。
5. 国家安全保障会議の Gayle Smith は、アフリカ諸国の間には GDP や国土面積に大きな差が存在しており、この差がエボラ出血熱対策における最大の弱点であると指摘した。

基礎能力試験 数的処理(判断推理・数的推理・資料解釈含む)

判断推理…高度なクイズ?⇒数学・算数が苦手な人でも問題演習量でカバーできる科目

例題(平成 27 年国家総合職教養区分 No. 9)

正解 1

【No. 9】 ある大学の学生について次のことが分かっているとき、論理的に確実にいえるのはどれか。

- 運動系サークルに所属していない学生は、ジャージを着ていない。
- 運動系サークルに所属している学生は、ウォーキング・シューズを履いている。
- 運動系サークルに所属していない学生は、トレーナーを着ていない。
- サングラスをしている学生は、トレーナーを着ている。

1. 運動系サークルに所属していない学生は、サングラスをしていない。
2. サングラスをしている学生は、ウォーキング・シューズを履いていない。
3. ウォーキング・シューズを履いている学生は、ジャージを着ている。
4. ジャージを着ている学生は、トレーナーを着ている。
5. トレーナーを着ていない学生は、ウォーキング・シューズを履いていない。

数的推理…算数の文章題、数学の平面図形⇒数学・算数が苦手だと苦労するが、点を拾うことが

できればよい＝ジャンルごとに克服していく

文章題の例題(平成 27 年国家総合職教養区分 No. 19)

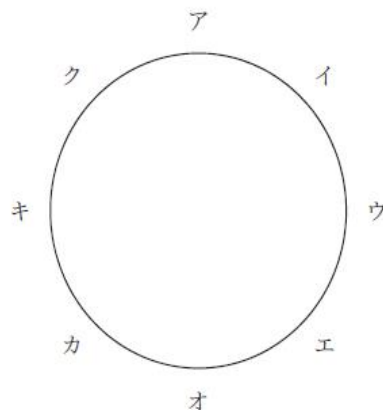
正解 3

【No. 19】 ある昼食会にA～Dの4組の夫婦計8人が出席して、図のア～クのいずれかの席に座ることとなった。

それぞれの席を決めるため、まず、A～Dの夫婦のうち、それぞれの夫婦から1人ずつ計4人がくじを引き、ア、ウ、オ、キのいずれかに座った後、残りの4人がくじを引き、イ、エ、カ、クのいずれかに座る。

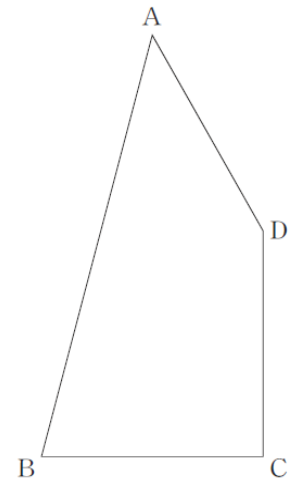
このとき、隣りどうしに座る夫婦がちょうど2組となる確率はいくらか。

1. $\frac{1}{12}$
2. $\frac{1}{8}$
3. $\frac{1}{6}$
4. $\frac{1}{4}$
5. $\frac{1}{3}$



【No. 15】 四角形 ABCD において、辺 AD, BC, CD の長さがそれぞれ 10 cm, $\angle ADC$ の大きさが 150° , $\angle BCD$ の大きさが 90° のとき、四角形 ABCD の面積はいくらか。

1. $50 + 25\sqrt{3} \text{ cm}^2$
2. $75 + 25\sqrt{3} \text{ cm}^2$
3. $50 + 50\sqrt{2} \text{ cm}^2$
4. $100 + 25\sqrt{2} \text{ cm}^2$
5. $75 + 50\sqrt{2} \text{ cm}^2$

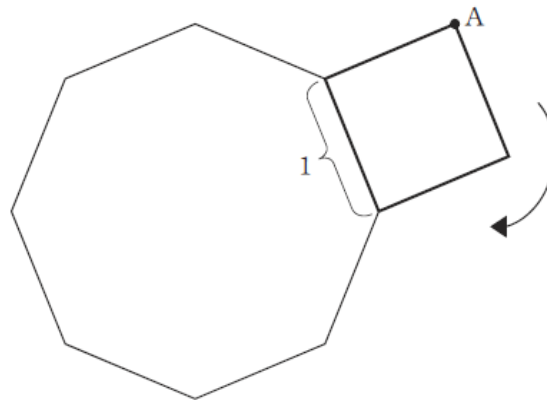


空間把握…出題されても1問～2問

例題(平成27年国家総合職教養区分 No. 15)

正解 1

【No. 15】 図のように、一辺の長さが1の固定された正八角形の周りを、一辺の長さが1の正方形が滑ることなく回転して元の位置に戻ってくるまで移動する。このとき、点Aが描く軌跡に囲まれた図形から、図の正八角形を除いた部分の面積はいくらか。



1. $3\pi + 2$
2. 4π
3. $4\pi + 3$
4. 5π
5. $5\pi + 1$

資料解釈…数表、グラフなどの資料を読み取って、簡単な計算をする

⇒数学・算数が苦手な人でも問題演習量でカバーできる科目

例題(平成 27 年国家総合職教養区分 No. 24)

正解 2

【No. 24】 表Ⅰは、我が国の貿易額の推移を、表Ⅱは、我が国の貿易額に占める地域別・国別割合の推移を示したものである。これらから確実にいえるのはどれか。

表Ⅰ 貿易額の推移

(十億円)

	1960 年	2000 年	2010 年
輸出	1,460	51,654	67,400
輸入	1,617	40,938	60,765

表Ⅱ 貿易額に占める地域別・国別割合の推移

(%)

		1960 年	2000 年	2010 年
輸出	アジア	35.9	43.4	59.7
	うち中国	0.1	6.3	19.4
	北米	30.1	31.3	16.6
	うち米国	26.7	29.7	15.4
	中南米	7.5	4.4	5.7
	ヨーロッパ	13.3	17.7	13.7
輸入	アジア	30.5	54.7	62.4
	うち中国	0.5	14.5	22.1
	北米	39.2	21.3	11.3
	うち米国	34.4	19.0	9.7
	中南米	6.9	2.9	4.1
	ヨーロッパ	10.8	15.1	13.4

(注) 表Ⅱ中、アフリカとオセアニアは省略。

1. 中国との貿易額についてみると、2010 年の輸出額は 1960 年の輸出額の約 200 倍である。
2. 北米との貿易額に占める米国の割合についてみると、輸出額、輸入額のいずれに占める割合も、1960 年、2000 年、2010 年のうち、2000 年が大きい。
3. 米国との貿易額についてみると、1960 年に対する 2010 年の輸出額の増加率は、1960 年に対する 2010 年の輸入額の増加率を下回っている。
4. 中南米との貿易額についてみると、1960 年、2000 年のいずれも、輸出額が輸入額を上回っている。
5. ヨーロッパとの貿易額についてみると、2000 年の輸出額は 2010 年の輸出額を上回っている。

2) 2次試験

①企画提案試験（Ⅰ部：2時間1題 Ⅱ部：おおむね1時間程度 ：配点5/28）

Ⅰ部…小論文

Ⅱ部…プレゼンテーション



②政策課題討議試験（概ね2時間程度：配点4/28）

課題に対するグループ討議によるプレゼンテーション能力やコミュニケーション力など
についての試験（課題に関する資料の中に英文によるものも含む。）

③人物試験（概ね20分程度：配点6/28）

具体的には・・・

①企画提案試験

平成 26 年問題

次で求められている小論文を作成しなさい。ただし、資料は小論文作成に当たっての参考程度とし、資料に書かれている施策にとらわれず自分の考えに基づいて施策を提案しなさい。

あなたが置かれている状況

あなたは、ある組織の行政官として上司から次の課題が与えられており、自分の提案を説明するための文書を作成しようとしている。なお、あなたの提案は組織内で検討されたのち、実現に向けて関係府省との調整等を経て、最終的には、国民に対して公表されることとなっている。

上司からの課題

平成 25 年度に行われた若者（満 13 ～ 29 歳）を対象とした意識調査によれば、「日本の若者は諸外国と比べて、自分の将来に明るい希望を持っていない。」という結果が出ている。

他方、我が国の子どもをめぐる環境としては、平成 25 年度、児童虐待の相談や通報を受けて対応した件数が 7 万件を超えたほか、子どもの貧困率（注）が平成 24 年に 16.3 %となるなど、子どもの安心・安全や養育について、対処すべき課題がある。

このような状況を踏まえ、今後の我が国を支える子どもや若者が、自分の将来に希望を持ってもらえるようになる具体的な方策を提案し、組織内の関係者に説明できるような文書（小論文）を、作成しなさい。

なお、提案に当たっては、効果が現れる時期にも言及しなさい。

（注）「子どもの貧困率」とは、子ども（17 歳以下の者）全体のうち、等価可処分所得が貧困線に満たない子どもの割合をいう。

等価可処分所得：世帯の可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除いたいわゆる手取り収入）を世帯人員の平方根で割った所得。

貧困線：等価可処分所得の中央値の半分の額。なお、平成 24 年は 122 万円。

②政策課題討議試験

平成 26 年問題

テーマ：「通学路に防犯カメラを設置することを、地方自治体は推進している。子どもの安全に対する意識から地域住民の需要もあり、繁華街におかれることも多い。効果がある一方で、プライバシーの問題や防犯カメラは補助的な役割にすぎないという指摘もある。あなたの意見は、次の A・B のどちらに近いかな。

A：防犯カメラの設置を地方自治体に義務づけるべきである。

B：防犯カメラの設置を地方自治体に推奨はするが、義務づけるべきではない。

意見 A については、防犯カメラ設置上の問題を、意見 B については防犯カメラ以外の安全対策についてもグループ討議内で扱うこと。」

（資料①毎日新聞 大阪府箕面市での防犯カメラ設置ニュース。資料②警察庁 2 月の通達「通学路などにおける子どもの犯罪被害防止対策の推進について」）

③人物試験

「これまでに取り組んだ活動や体験」「志望動機」などを中心としたコンピテンシー(どう取り組んだのかに重点を置いて聞いていく)面接(後につけた面接カード+受験時に提出したエントリーシートを使う)

総合論文試験で8点、企画提案試験で3点、政策課題討議及び人物試験でD以上の評価を取れば足切り



合格点が何点くらいか？

総合論文試験(20点満点・各部3点以下は不合格・平均点11.931・標準偏差2.342)

粗点	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
標準点	70	89	107	125	144	162	180	199	217	235	253	272	290

企画提案試験(12点満点・3点以下は不合格・平均点6.063・標準偏差2.087)

粗点	4	5	6	7	8	9	10	11	12
標準点	61	75	90	104	119	134	148	163	177

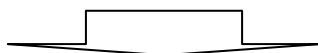
政策課題討議試験(A～Eの5段階評価・E評価は不合格)

評価	A	B	C	D
標準点	122	97	67	33

人物試験(A～Eの5段階評価・E評価は不合格)

評価	A	B	C	D
標準点	173	138	102	67

最終合格点：532点



平成27年からは、ここに英語試験の活用による加点が加わる

	TOEFL iBT®	TOEIC®	IELTS	英検
15点加算	65以上	600以上	5.5以上	—
25点加算	80以上	730以上	6.5以上	準1級以上

☆合格シミュレーション

1 次試験	114
総合論文	12 (144)
企画提案	6 (90)
政策課題討議	C (67)
人物	C (102)
総点	あと 15 点不足
	2 次試験のどこかで平均超え or 英語加算 15 点が必要

☆試験結果

	申込者数	受験者数	1 次合格者数	1 次倍率	最終合格者数	最終倍率	採用予定者数
平成 25	1,962	995	174	5.7	92	10.8	平成 25 数人 平成 26 25
平成 26	1,913	1,119	228	4.9	123	9.1	平成 26 数人 平成 27 33
平成 27	2,453	1,486	232	6.4	133	11.2	平成 27 数人 平成 28 不明

※平成 26 年試験においては、35 人が採用された

(3) 試験後の流れ

平成 29 年 4 月採用…平成 28 年 12 月中旬に官庁訪問

平成 30 年 4 月採用…平成 29 年 8 月上旬から官庁訪問

※主な省庁の教養区分からの採用実績(分母は大学卒業程度からの法文系総採用者)

省庁名	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
財務省	4 / 19	3 / 31	6 / 23
総務省(全分野計)	1 / 35	2 / 30	9 / 51
外務省	7 / 23	3 / 22	13 / 28
経済産業省	5 / 18	10 / 24	4 / 27
警察庁	0 / 17	2 / 19	調査中
農林水産省	0 / 11	1 / 14	2 (全体数不明)
厚生労働省	0 / 30	5 / 32	9 / 35
国土交通省	4 / 24	3 / 25	5 / 30
文部科学省	0 / 14	2 / 19	3 / 25

★もう一つの試験(隠れメニュー)：官庁訪問

開始…最終合格発表(平成 27 年は 7 月 31 日)の後、8 月 5 日午前 8 時 30 分から

期間…開始日から 1 週間(同一省庁に訪問日の翌日・翌々日は訪問不可)

次の 1 週間(同一省庁に 2 日連続して訪問不可)

月 日	8/5	8/6	8/7	8/10	8/11	8/12	8/13	8/14	8/17	8/18
	第 1 クール			第 2 クール			第 3		第 4	第 5
A	○	×	×	○	×	×	○	×	○	○
B	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×
C	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×

※A・B・Cはそれぞれある官庁を指す

※8月18日に「内々定」が出る・・・事実上の内々定はそれ以前に暗示されてはいる

※何をするか…原課(政策を作っているところ)・人事を含め様々な人と面接(面談に近いものも

ある)して、その省庁のカラーにあっているかどうかを判断される

※この官庁訪問をクリアしないと、就職できない⇒官庁訪問の倍率 2.5 倍程度

2 国家総合職教養区分試験のメリット

⇒早いうちに官庁訪問のチケットをもらうことができる

月	教養区分	春の試験
9月	1次試験	
10月		
11月	2次試験	
12月	最終合格	
1月		
2月		
3月		
4月		
5月		1次試験
6月		2次試験
7月		最終合格
8月	官庁訪問	

※ただし平成28年試験から、春の試験は1か月程度の前倒しの可能性があります

このアドバンテージを手に入れることができる

- ①民間企業の就活を頑張るもよし
- ②官庁訪問に向けて、内定力を高める活動をするもよし
- ③学業に専念するもよし